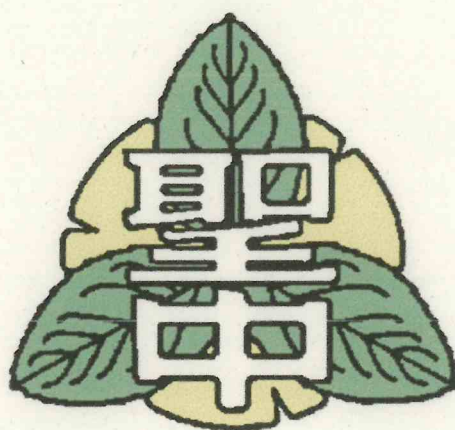


令和 6 年度

第3学年 シラバス



多摩市立聖ヶ丘中学校

3年 国語科	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『国語3』（光村図書） ・『光村 国語のワーク3』（光村図書） ・『役立つ文法』（正進社） ・『中学書写』（光村図書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・『東京都ブレ模範4』（学宝社） ・『国語の便覧』（浜島書店） ・『漢字と語句』（五ツ木書房）
---------------	-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【国語科で目指すこと】

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだ理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化にわり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【勉強の進め方】

家庭では	授業では	テスト勉強の仕方
①新出漢字や語句の予習をしましょう。 （正しい読解のための準備） ②授業の進度に応じて問題集を解きましょう。 （授業内容の定着） ③理解していること／いないことを整理しましょう。 （理解度の把握） ④その他、必要なこと（1・2年の復習等）をしましょう。 （弱点の把握）	①疑問をもち、解決していく過程を楽しみましょう。 ②板書以外の情報も必ずメモしましょう。口頭だけで説明する場合もあります。 ③細かい表現にもしっかりと目を向けましょう。助詞等の使い方で解釈は変わります。 ④話し合い活動に積極的に参加しましょう。視点を広げ、意見を深めるチャンスです。 ⑤わからないことはすぐに質問しましょう。授業後でも構いません。	①まずは、左記のことを心掛けましょう。それが何よりも大切なことです。 ②「定期考査のためだけの勉強」にならないように、テスト期間に詰め込まないようにしましょう。 ③単元の目標を思い出し、身に付けた力はどのようなものなのかを意識しましょう。 ④大切なテストになるので、日々の積み重ねを大切にしましょう。疑問点は、日常的に解消するようにしましょう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト（漢字、語句、暗唱等） ・定期考査 ・書写 など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題作文 ・ワークシート ・小テスト（聞き取りテスト等） など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ワークシートの取り組み ・小テスト（漢字、語句、暗唱等） など

各観点の比率は1：1：1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19, 20, 21	松永	100点
第2回定期考査	9/26, 27	松永	100点
第3回定期考査	11/19, 20, 21	松永	100点
第4回定期考査	2/25, 26, 27	松永	100点

【担当者からのメッセージ】

「受験のために」と意識し過ぎるよりも、好奇心をもって、自分なりの考えをどんどん広げてほしいと思います。考えることが習慣になると、知識なども、自然と身に付くことが多いものです。

力には、一人で向き合うからこそ伸びる力と、みんなと話し合いながら学ぶからこそ伸びる力があります。どちらか一方にならないように、家庭での学習と授業での学習を上手に両立させてほしいと思います。

基礎的な知識等は、繰り返し学ぶことが大切です。面倒がらずに、丁寧に取り組みましょう。それぞれが基礎的な力を身に付けた上で話し合いながら学ぶと、新しい発見があったりします。そのような瞬間が増えるほど楽しくなるので、みんなで一緒に頑張りましょう！

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	1 深まる学びへ	<ul style="list-style-type: none"> ・握手 ・評価しながら聞く ・学びて時に之を習ふ ・文章の種類を選んで書こう ・熟語の読み方 ・漢字に親しもう1 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の力や豊かさに気付き、そこに描かれた人間の生き方について考える。 ・様々な文章形態を振り返り、伝えたい内容や目的に合ったものを選択する。
	2 視野を広げて	<ul style="list-style-type: none"> ・作られた物語を超えて ・説得力のある構成を考えよう ・リオの伝説のスピーチ ・漢字に親しもう2 ・すいかは幾つ必要？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象の関係に注意し、筆者の主張や論理の展開を評価する。 ・社会的な課題などについて情報を集め、自分の思いを訴える。
	3 言葉とともに 【書写】 ・文字を使い分け る	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・和語・漢語・外来語 <ul style="list-style-type: none"> ・全国文字マップ ・文字の使い分け 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の豊かな表現力に気付き、簡潔な表現に込められたものの見方を捉える。 ・よりよく伝えるために必要な言葉の選び方や表現上の配慮について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・身の周りには文字による多様な表現があることを理解する。 ・多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的な文字を書く。
2 学期	4 状況の中で	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・故郷 ・聞き上手になろう ・論理の展開を整える ・慣用句・ことわざ・故事成語 ・漢字の造語力 ・漢字に親しもう3 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の設定や表現の効果に注意し、作品の価値について批評する。 ・対談を通して、人間と社会との関わり of 普遍的な在り方について考えを深める。
	5 自らの考えを	<ul style="list-style-type: none"> ・人工知能との未来 ・人間と人工知能と創造性 ・多角的に分析して書こう ・話し合いを効果的に進める ・合意形成に向けて話し合おう ・漢字に親しもう4 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を批判的に読み、対象を多角的に分析し、課題解決に向け合意形成する術を学ぶ。 ・多様性の中で、強さと柔軟性をもって思考し続ける自己を確立する。
	6 いにしえの心を受け継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の世界 ・古今和歌集 仮名序 ・君待つと ・夏草 ・古典名句・名言集 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景を踏まえた上で、表現の工夫などにも注意を払い、古典の世界を深く学ぶ。 ・古典を学ぶ意義について考え、今を生きる自分を振り返る。
3 学期	7 価値を生み出す	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かの代わりに ・情報を読み取って文章を書こう ・漢字のまとめ ・漢字に親しもう5 ・「ない」の違いがわからない？ <ul style="list-style-type: none"> ・UD書体って何だろう ・3年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わりの中で、新しいものの見方や価値観に気付く。 ・グラフの情報を客観的に読み取り、自分なりのものの見方を養う。 <ul style="list-style-type: none"> ・見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知り、文字文化の豊かさを学ぶ。 ・今までに学習した内容を活かして、文字を書く。
	8 未来へ向かって	<ul style="list-style-type: none"> ・温かいスープ ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう ・漢字に親しもう6 <ul style="list-style-type: none"> ・私の好きな言葉 ・なりきり書聖・王羲之 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や可能性について考え、視野を広げたり思考を深めたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した知識、技能を活かして書くことができる。 ・芸術としての「書道」を知り、学習への関心をもつ。

3年**社会科**

教材

【歴史】・新しい社会 ・つながる歴史 ・歴史の学習
 【公民】・新しい社会 ・公民の資料 ・公民の完全学習

【社会科で目指すこと】

- ・基本的な知識をしっかりと理解し、基礎基本の定着をはかる。
- ・地図や年表などの資料を読み取ることができる。
- ・資料から発見できたことを具体的に表現することができる。
- ・学んだことを基に、知識を関連づけ、多面的・多角的に考察し表現することができる。
- ・課題解決に向け自らの学習を振り返りながら、粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとする。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にして、気づいたことや大事なことをプリントに記入し、自分のプリントを作りましょう。 ・資料や図などを見て、特徴を考え出来事などが起こる原因や背景について根拠をもって考えましょう。 ・これまで学習してきた知識や技能を関連づけたり、活用したりして自分の意見を書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習をしましょう。 ・復習をワーク等で行いましょう。 ・得意でない問題は、担当教員に質問するなどしましょう。 ・世の中の出来事に関心を持ち、学習で獲得した知識などに関連がないか考えましょう。 ・ニュースなど新しい出来事を知り、その出来事について疑問を探してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に復習しましょう。 ・教科書の音読や問題演習を繰り返し行い、学習内容を友達に説明できるようにしておくといいです。 ・自分が理解していることとそうではないことを整理し、まだ不十分なところはさらに学習しましょう。 ・指示語などの理解や文章表現なども重要です。国語やその他の教科の勉強も大切してください。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	定期考査、小テスト等
思考・判断・表現	定期考査、ワークシート、授業での取り組み等、グループワーク等（ディベート・プレゼンテーション）
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、授業での取り組み等

各観点の比率は1：1：1です。

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	大澤 伊藤	50点 50点
第2回定期考査	9/26,27	大澤 伊藤	50点 50点
第3回定期考査	11/19～21	大澤 伊藤	50点 50点
第4回定期考査	2/25～27	大澤 伊藤	50点 50点

【担当者からのメッセージ】

- ・自分自身の考えや意見を発言や記述などを通して、たくさん表現してほしいと思います。
 - ・班活動や発表の際は、他の人の考えや意見をしっかりと聞き、自分の考えや意見をあらためて確認したり、考えや意見の変容を感じたりしてください。
 - ・歴史と公民は別々に学習しますが、相互に関連しています。今学習していることが歴史と公民でどのようにつながっているか、関心をもってみてください。
 - ・ニュースなどで世の中の出来事を知るとき、社会の学習で出てきたなど感じる瞬間が増えるように、意識して学習し情報に接してみてください。
- 1年間よろしくお願いします。

【1年間の学習内容】

学 期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学 期	≪歴史≫ ・二度の世界大戦と日本 ≪公民≫ ・現代社会と私たち ・個人の尊重と日本国憲法	・第一次世界大戦 ・大正デモクラシー ・現代社会の特色と私たちの生活 ・個人と社会生活 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会	・第一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代日本の特色や課題を理解し、その影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 ・現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする態度を育む。 ・人間の尊重を、基本的人権を中心に深め、民主的な社会生活を営むために、法に基づく政治が大切であることを理解する。
2 学 期	≪歴史≫ ・二度の世界大戦と日本 ・現代の日本と世界 ≪公民≫ ・現代の民主政治と社会 ・私たちの暮らしと経済	・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本 ・現代の民主主義 ・国の政治のしくみ ・地方政治と自治 ・私たちの生活と経済 ・市場経済と金融 ・国民生活と福祉	・戦争の被害、国際連盟と国際連合誕生の背景と違いを現代社会と関連づけて考察する。 ・冷戦、我が国の民主化と再建、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きと新しい日本の建設の過程について理解する。 ・国際社会や政治の展開と生活の変化等に着目し、冷戦下の国際社会、日本の民主化、経済の発展とグローバル化する世界について多面的・多角的に考察し表現する。 ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや政党の役割を理解し、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質について理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任などを多面的・多角的に考察し、表現する。
3 学 期	≪公民≫ 地球社会と私たち ・よりよい社会を目指して	・国際社会のしくみ ・さまざまな国際問題 ・持続可能な社会の形成	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力や国際機構などの役割が大切であることを理解する。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする態度を育む。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを説明、論述するなどし、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとする態度を育む。

3年	数学科	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい数学3（教科書） ・数学の学習ノート（ワーク） ・単元別プリント基礎から発展へ（カラープリント） ・模擬トレ5（模擬テスト）
-----------	------------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【数学科で目指すこと】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化した
り、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察
する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態
度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
◇その日の授業目標の達成をめざして集中して取り組み、忘れ物をしないように注意しましょう。 ・持ち物は教科書、ファイル、ノート、ワーク、定規、色ペンなどです。 ◇説明、問いかけをきちんと聞きましょう。 ◇ポイントを書き込むなど工夫してノートやファイルをまとめましょう。 ・問題を解くときは、解く過程の式や考え方を書き、まちがいは赤ペンで書き直すなどの工夫をしましょう。 ◇わからないことを放置せず、質問するなどして解決しましょう。 ・ファイルやノート、教科書を活用して振り返りができるようにしましょう。 ・友達や先生に遠慮せず質問しましょう。	◇その日の授業内容を復習する習慣を身に付けましょう。 ◇宿題はきちんと取り組み、提出期限を守りましょう。 ◇ワークなどを活用して計算練習を少しする進めましょう。 ※数学の問題を解くための基本は計算です。家庭学習で繰り返し練習して計算力を高めてください。	◇テスト直前に学習内容を詰め込んでもなかなか身に付きません。テストの2週間前から計画的に学習しましょう。 ◇教科書やノート、ファイルを手がかりに、覚えるべき用語や記号、内容を確認しましょう。 ◇ワークの問題、プリント、教科書の問題など解き直しましょう。 ・答え合わせをして、まちがえた問題はしっかり理解し、わからない問題を放置せず質問しましょう。 ※ワーク・プリント・ノートの取り組みが、テスト前・テスト当日・テスト後の提出物になることがあります。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業での取組
思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業での取組
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・テスト直し、ワーク、課題の取組 ・授業での取組 ・（ノート、ファイル）

各観点の比率は1：1：1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	今井 河上・石坂	100点
第2回定期考査	9/26, 27	今井 河上・石坂	100点
第3回定期考査	11/19~21	今井 河上・石坂	100点
第4回定期考査	2/25~27	今井 河上・石坂	100点

【担当者からのメッセージ】

・受験生として自らの弱点を把握し、弱点克服のための学習計画を立てながら取り組めるとよいと思います。特に、1学期の早いうちに自分の学習ペースを確立しておきましょう。

・継続して努力する、粘り強く取り組むといった姿勢を大切にしましょう。少なくとも授業日にワークを1ページは解いて復習するなど、取り組むことを具体的に決めて実行しましょう。

・わからないと思ったら早めに質問して解決しましょう。わからないままにしないこと。ロイロノートなどを通して質問するなど、タブレット端末も活用しましょう。

《授業について》

形態：習熟度別授業

◇2クラスを3つのグループに、1クラスを2つのグループに分けて行います。

◇どのグループも教科書にそって授業をすすめ、定期考査は、どのグループも同じ問題に取り組みます。

★タブレット端末を活用した授業を行いますので、毎回の持ち物として準備してください。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	1 多項式	多項式の計算 因数分解 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解の意味を理解し、公式を使って式の展開や因数分解を行うことができる。 式の展開や因数分解を利用して、数や図形の性質を調べ、工夫して計算ができる
	2 平方根	平方根 根号を含む式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 平方根の意味とその必要性を理解し、平方根を含む式の計算ができる。 有理数、無理数の意味を学び、数の概念についての理解を一層深める。
	3 2次方程式	2次方程式とその解き方 2次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性やその解の意味を学び、2次方程式の解法を理解し、それに習熟する。 2次方程式を実際的な問題の解決に応用できる。
2 学期	4 関数	関数 いろいろな関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> 事象の中からxとyの関係が$y = ax^2$で表される関係に着目し、表や式、グラフ、値の変化などを通してその特徴を理解する。 事象の中からいろいろな関数を見だし、関数を利用して問題を解決することができる。
	5 相似な図形	相似な図形 平行線と比 相似な図形の面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形の意味や、相似な図形の性質、三角形の相似条件、平行線と線分の比の性質、相似比と面積の比及び体積の比の関係などを理解する。 相似な図形の性質、三角形の相似条件、平行線と線分の比の性質、相似比と面積の比及び体積の比などを使って図形の性質を考察したり、論証したりする能力を高める。
	6 円	円周角の定理 円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理を見いだして、定理とその逆が成り立つことを理解する。 図形の性質を調べたり、身のまわりの問題解決に円周角の定理などを利用することができる。
	7 三平方の定理	三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理とその逆が成り立つことを理解する。
3 学期	8 標本調査	三平方の定理の利用 標本調査 標本調査の利用	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理とその逆をいろいろな図形の計量に応用することができる。 標本調査の考え方を理解する。 母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることによって、母集団の傾向を読み取ることができる。

3年	理科	教材	iPad・教科書・ファイル・よくわかる理科の学習（ワーク）
-----------	-----------	----	-------------------------------

【理科で目指すこと】

1. 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
2. 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
3. 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・先生が話しているときは、先生の方を見て、手を動かさず、集中して話を聞きましょう。 ・実験は安全に行えるよう、理科室使用のルールを必ず守ること。 ・実験は必ず班のメンバーと協力して行い、実験の様子をよく観察しましょう。 ・考察はじっくり考え、分かりやすい言葉で書きましょう。 ・授業ではまず自分の力で考えましょう。その後、班や学級の仲間の意見を聞き、考えを深めてから自分の考えを再構築しましょう。 ・よく発言しましょう。みんなの発言で授業が進みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で起こることに、常に「なんでだろう？」という疑問を持ちながら生活しましょう。 ・授業で学習した内容が、日常生活で実際に起こっていないか、目を凝らしてみましょう。 ・授業で学習した内容は、すぐに教科書やプリント、理科の学習（ワーク）などを用いて復習しましょう。 ・授業中の先生の話の思い出しながら、勉強しましょう。 ・家庭で復習をする中で、分からない項目はメモしておき、理科の先生に聞くようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、家庭での日々の学習と同じ学習をしてください。 ・教科書を読み返し、特に太字の単語は必ず覚えましょう。 ・ファイルに入れたプリントを見返しましょう。実験のプリントは、実験の目的や手順、器具の名称、考察の内容などを復習しましょう。 ・理科の学習（ワーク）は試験範囲に該当するページを繰り返し解きましょう。特に、できなかったところは繰り返し解き、できるまで行いましょう。 ・毎時間の授業の目標や課題を確認し、どのようなことを学習したのか振り返りを行いましょう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業プリント ・レポート ・提出物 ・行動観察（授業時の話し合いの様子）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・小テスト・授業プリント ・振り返りカード ・レポート ・授業プリント ・提出物 ・行動観察（授業時の発言や発表）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・振り返りカード ・提出物 ・行動観察（授業時の主体性、協力性） ・自主的な自然科学に関する取組

各観点の比率は1：1：1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	佐藤	100点
第2回定期考査	9/26～9/27	佐藤	100点
第3回定期考査	11/19～21	佐藤	100点
第4回定期考査	2/25～27	佐藤	100点

【担当者からのメッセージ】

理科は、日常生活の中にある“さまざまな現象”を扱った教科です。理科の学習では、その“さまざまな現象”がなぜ・どのようにして起こるのかを理解していきます。

この1年間は、授業中に言われたことや重要事項を覚えるだけでなく、その現象を“理解”し、“納得”できるまで、調べたり考えたりすることも大切にして下さい。日常生活の“さまざまな現象”が「そういうことだったんだ」と分かる経験を積んでいきましょう。

また、理科の学習を進める中で、「学びに向かう主体性」を身に付けてほしいです。常になぜだろうと疑問を抱え、そして自分で考え、仲間と解決しようとする。みんなが自然とそのような行動を起こすことができるよう、授業をしていきます。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1学期	生命の連続性	1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見だし、その違いを理解する。また、種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉えさせるとともに、有性生殖における減数分裂について理解する。生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わることを、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解する。生物の間のつながりを時間的に見ることを通して進化の概念を身につける。
	宇宙を観る	1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	太陽の形や大きさ、表面の様子などの特徴を見いだして理解したり、観測資料などから、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解したりするとともに、太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につける。 天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解するとともに、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解し、天体の動きを観察する技能を身につける。 月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解するとともに、月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につける。
2学期	化学変化とイオン	1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを理解する。イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。 金属によってイオンへのなりやすさに違いがあることを見いださせ、イオンのモデルと関連づけながら理解する。イオンのモデルを用いて電池の基本的な仕組みが説明できる。 酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いだすとともに、電離のようすをイオンのモデルを使って説明できるようにする。中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いだすとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。
	運動とエネルギー	1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解する。合力を導入し、作図によって合力を求めることができるようにする。最後に、分力の求め方を理解する。 記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解する。 摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解する。 それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解するとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。
3学期	自然と人間	1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術と人間 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを、観察などを通して見だし理解する。 人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解し、自然環境を保全することの重要性を認識させるとともに、大地の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間の関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身につける。 物質を有効利用するためには、物質の再利用などがたいせつであることに気づかせる。 科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉えさせ、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察させ、持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる
	中学校3年間の学習のまとめ	・中学校理科のまとめと復習	・中学校3年間のまとめと復習を行い、入試や上級学校での生活に備える。

3年	英語科	教材 教科書 (Here We Go! ENGLISH COURSE3)、ジョイフルワークブック (ワーク)、模擬トレ5、読みトレ(ワーク)、授業ノート
-----------	------------	------------------------------------------------------------------------------

【英語科で目指すこと】

- ・英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにしよう。
- ・英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにしよう。
- ・英語を読むことに慣れよう。英語を読んで書き手の思いなどを理解できるようにしよう。
- ・英語で書くことに慣れよう。英語を使って自分の考えなどを書くことができるようにしよう。
- ・英語を楽しんで学習し、基礎となる知識をしっかりと身に付けよう。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物や課題など、授業の準備をしっかりと行い、万全の状態です。 ・先生の話をよく聞いて、集中して取り組もう。 ・発音練習や音読練習の際は恥ずかしくなく大きな声を出そう。 ・ペアワークやグループワークの際は、英語を使って積極的にクラスメイトと話そう。 ・先生やALT、教科書の音声をよく聞いて英語独特のリズムやイントネーションに慣れよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や課題に取り組もう。 ・単語テストに向けて、日々満点を目指してたくさん練習しよう。 ・日常生活の中で疑問に思ったことは、手間を惜しまず自分の力で調べてみよう。 ・ワークはその日のうちに習ったところの該当ページに取り組もう。 ・教材のQRコードを利用して、英語の音声を聞き、発音練習に励もう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークなど、課題にしっかりと取り組もう。 ・教科書を音読し、読み方や文法事項を正しく理解しよう。 ・授業で配布されたプリントの内容を復習し、日本語を見て英語が言える、書ける状態にしよう。 ・ワークの問題は大事な要点を書き込みながら、何度も取り組もう。 ・わからないことはそのままにせず、先生やクラスメイトに聞こう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業内の活動
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業内の活動 ・パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組 ・課題への取組 ・小テスト ・パフォーマンステスト

各観点の比率は1 : 1 : 1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	山口・平田・三浦	100点
第2回定期考査	9/26, 27	山口・平田・三浦	100点
第3回定期考査	11/19~21	山口・平田・三浦	100点
第4回定期考査	2/25~27	山口・平田・三浦	100点

【担当者からのメッセージ】

英語は他者とコミュニケーションを取るためのツールです。日本語に多くの言い回しがあるように、英語にも1つの言葉に様々な言い方をすることができるものもあります。そのため、間違いを恐れて言葉にすることをやめてしまうと、上達するチャンスが減っていきます。言葉にしてこそ、上達していくものです。ぜひ、失敗を恐れずに前向きに発言していきましょう。

授業の中では、「話すこと」「読むこと」「書くこと」「聞くこと」の4技能をまんべんなく伸ばしていくことができるように工夫して1時間の授業を組み立てていきます。みなさんも学習内容を予習、復習して授業の1時間が互いにとって有意義な時間になるようにしましょう。

1年間よろしくお祈りいたします。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> Unit 1 School Life Around the World ディスカッション Unit 2 Our School Trip Daily Life 2 留守番電話 Unit 3 Lessons From Hiroshima Active Grammar 1 Let's Read 1 World Tour 1 Living With Animals You Can Do It! 1 Unit 4 AI Technology and Language 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身 let/help+人・もの+動詞の原形 tell・show+人+(that+)文 現在完了形 現在完了進行形 it's for 人 to動詞の原形 関係代名詞(主格) 関係代名詞(目的格) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 読んだ記事について、意見を発表することができる。 <let/help+人・もの+動詞の原形>と<tell+人+that>を使った会話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 おすすめの場所について、教え合うことができる。 現在完了形の「完了」「継続」、現在完了進行形、It is ~(for 人)+to+動詞の原形を理解することができる。 留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。 文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。 日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことなどを伝え合うことができる。 絶滅危惧種の現状やその原因について知ることができる。 町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。 過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、50年後の町の変化を予想して述べたりすることができる。 投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。 関係代名詞which, who, thatが主語となる文を使った説明を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> Unit 4 AI Technology and Language (続き) Daily Life 3 ポスター Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True Unit 5 Plastic Waste Daily Life 4 ニュース Unit 6 The Chorus Contest Active Grammar 2 後置修飾 You Can Do It! 2 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう Unit 7 Tina's Speech Unit 8 Goodbye, Tina 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞(主格) 関係代名詞(目的格) 後置修飾 間接疑問文 仮定法 疑問詞+to+動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。 プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。 関係代名詞which, thatが目的語になる文を使った話を聞いたり、それを使って話したり書いたりする。 ポスターから、必要な情報を読み取ることができる。 ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。 絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。 名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解することができる。 2人の生徒の提案を読み、賛成か反対かを決めることができる。 どちらかの提案について、自分の意見と理由を伝え合うことができる。 スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。 疑問詞+to+動詞の原形を使った会話を聞いたり、疑問詞+動詞の原形を使って話したり書いたりする。 If…の仮定法を使った会話を聞いたり、If…の仮定法を使って話したり書いたりする。 手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 自分の気持ちを伝える、手紙を書くことができる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> World Tour 2 How Do We Live? Let's Read 3 Changing the World You Can Do It! 3 3年間を締めくくる言葉を考えよう Let's Read More 1 The Runner Wearing Number 67 Let's Read More 2 Visas for 6,000 Lives 		<ul style="list-style-type: none"> 世界を100人の村にたとえた文章から、世界の現状を知ることができる。 スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。 単語を織り込んだ詩から、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりすることができる。 好きな単語を織り込んだ詩を作ることができる。 1964年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。 杉原千畝の伝記から、彼の行動と思いを読み取ることができる。 『トム・ソーヤの冒険』の1節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。

3年	音楽科	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の音楽 2・3上, 下 ・New Chorus Friends ・ファイル (配布プリント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の器楽 ・音楽のハーモニー 2・3年下 ・アルトリコーダー ・タブレット
-----------	------------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【音楽科で目指すこと】

- 1 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- 2 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができる。
- 3 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ◇忘れ物や遅刻をしないようにしましょう。 ◇周りの人の様子を伺うのではなく先生の指示は自分の耳でしっかり聴こう。 ◇苦手でも嫌いでもまずはとにかくやってみよう。 ◇先生を良く見て真似しよう。 ◇「はじめはうまくできなくてあたりまえ」他の人と比べたりあきらめたりせずにコツコツ練習しよう。 ◇自分の耳で聴いて、自分の心で感じて、自分の頭で考えて、自分の身体すべてを使って表現しよう。 ◇歌うときは、常に楽譜をしっかりと見て音符と歌詞の関係や色々な記号に注意を払おう。 ◇鑑賞するときは、その音楽を聴いたらどんな気分になるかに意識を向け、そう感じた理由は何かをよく考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇身の回りの音に敏感になろう。 ◇身の回りの音楽と生活とのかかわりについてときどき考えてみよう。 ◇普段から素敵な音楽をたくさん聴いて色々なイメージをもつようにしましょう。また、その音楽によってもたらされるイメージや感情の変化は、音楽のどのような要素によるものなのかを考えるような、分析的な聴き方も時々してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇音楽の基礎的な知識について授業で習ったことをしっかり覚えておこう。 ◇楽譜を良く見直し、音符と歌詞の関係やいろいろな記号の読み方や意味をしっかりと確認しておこう。 ◇授業中にいつも注意されたり直されるところを思い出し、どのように歌ったり構えたりすればよいか確認しておこう。 ◇作曲者やその曲の時代背景などについて理解し、覚えておこう。 ◇音楽のいろいろな要素と曲想（それぞれの音楽の雰囲気など）との関わりについてまとめておこう。 ◇普段から自分なりの表現の工夫（「もっとこう演奏したい」というイメージ）を考えておこう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動（表現・鑑賞等）や実技に関する知識と技能 ・ワークシート類の記入内容 ・定期考査（知識・技能に関する問題）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動や実技テストにおける表現 ・ワークシート類の記入内容 ・定期考査（表現の工夫や楽曲理解に関する思考・判断に必要な事柄に関する問題）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動や実技テストに臨む意欲と態度 ・授業の振り返りシート等の記入状況 ・定期考査

各観点の比率は1 : 1 : 1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	森	100点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19, 20, 21	森	100点
第4回定期考査	2/25～27	森	100点

【担当者からのメッセージ】

- ◇ まずは音楽の多様性・面白さ・楽しさを知り、実際に感じることに。そのことを一番の目標として授業を進めていきます。そして、音楽によってもたらされるイメージや感情は音楽のどのようなしくみによって作られていくのかを探り、実際の表現に生かしていけるようにします。音楽から感じたことを人に伝えるためには、言葉に置き換えることが必要です。または言葉によって思考しているため、授業では特に自分が感じたさまざまなイメージを言葉にして表現する（伝える）ことを重視しています。日ごろから様々な文章を読み、様々な言葉や表現の仕方を知っておくことも重要です。
- ◇ 表現（特に演奏）の技能には個人差があります。しかし、全員がここまでできるようになってほしい…というのが評価の基準になります。初めはうまくいかなくても、一生懸命取り組んでいればいつの間にかできるようになります。そのがんばっている姿を評価します。自分を周囲と比べて力を加減したりあきらめたりするのではなく、自分のやるべきことをしっかりとやりましょう。「周りの人が声を出さないから自分も出さない」という気持ちでいる人がいますが、「声を出さない周りの人」とはその人自身のことです。自分ががんばらない言い訳を他の人のせいにして、がんばっている人を悪く言うような人がいたら、その人はもちろんそのクラスはどんどんダメになっていきます。だからこそお互いが励ましあい、高めあえるクラス、みんなと一緒に思い切り声を出して歌えるクラスを目指しましょう。そうすれば、合唱の楽しさや鳥肌が立つくらいの感動を全身で味わえるときがきっとあります。

3年生(1年間の学習内容)

*学校行事等との関係で、曲目や順番を入れ替えて実施する場合があります。

学期	題材名	学習内容	題材ごとに付きたい主な力
1 学期	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう SDGs4	・歌唱『花』	・言葉と旋律やリズムとの関係を理解し、言葉のまとまりを生かしながら歌う
	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう SDGs17	・混声合唱『時を越えて』	・豊かな声の響き、美しいハーモニーで合唱する ・混声合唱の表現の仕方を工夫する ・曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げる
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、リコーダーの表現を工夫しよう	・器楽「アルトリコーダー」『ふるさと』	・リコーダーの運指と奏法を身に付ける ・息の使い方や運指で豊かな表情を付ける ・なめらかな技術で音楽を表現する ・リコーダーで楽曲を表現できるようにする
	仲間とともに表情豊かに合唱するために、いろいろな合唱曲を聴こう	・鑑賞「混声合唱曲」	・合唱曲のハーモニーの豊かさを感じながら、自分たちにふさわしい曲を考え、選ぶ
2 学期	英語で歌おう SDGs4, 16, 17	・合唱祭の全校合唱曲を英語で歌う『Sing』	・英語の歌に親しみ、意味を考えながら歌う
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう SDGs17	・混声合唱『時を越えて』 「各クラス自由曲」	・豊かな声の響き、美しいハーモニーで合唱する ・曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げる ・1つ1つの言葉を大切に、曲想を考えながら歌う
	音楽史 音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう SDGs4, 10, 16	・鑑賞『ボレロ』 『ピアノソナタ』 『夜の女王のアリア』 『ブルタバ』 『フィンランディア』他	・音楽史について学びながら各時代の楽曲を聴き、それぞれの時代についてその特徴を味わう ・各時代の音楽が生まれた文化や歴史的背景を知ることにより、各時代の音楽を理解する ・音楽の特徴を聴き取り、情景と曲想のかかわりを感じ取りながら鑑賞する
	日本に古くから伝わる芸能に親しみ、その魅力を味わおう SDGs4	・鑑賞能『敦盛』	・日本古来の芸能に親しみながら伝統文化を理解する
3 学期	我が国の伝統的な楽器の音色や響きを生かし、曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう SDGs17	・創作「リズムアンサンブル」	・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成を工夫してリズムアンサンブルを創作し、演奏する。
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう SDGs16, 17	・混声合唱『 旅立ちの日に』 ・『君が代』	・豊かな声、美しいハーモニーで合唱をする ・曲の特徴を生かして表現を工夫する ・詩と音楽の一体感を表現できるようにする ・儀式で歌う意義

3年**美術科**

教材

教科書、美術資料集、スケッチブック、筆記用具類、描画材(のこぎり、金ヤスリ、デザインカッター、アクリル・水彩絵の具や色鉛筆、墨など)、石、色画用紙、和紙など

【美術科で目指すこと】

- ・2年間の学習を生かしながら自ら進んで美術の活動に取り組む中で、美術への関心を深め、豊かな生活を創造していこうとする。
- ・ものをよく見つめて感じたり、想像したりする力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を身に付け、豊かに発想し構想する力を育み、表現方法を創意工夫し、自分らしく表現する力を伸ばす。
- ・自然の造形や美術作品、文化遺産などについての理解を深め、心豊かに生きることと美術の関わり合いに関心を持ち、よさや美しさを味わう。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ◆忘れ物をしない。 ◆話をよく聞こう。 ◆道具や材料を大切に使う ◆取り組んで分かったことや、自分や他者の感じたことや考えたことを大切にする。 ◆毎時間目標に向けてベストをつくし、計画的に取り組もう。 ◆作品は必ず完成させよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業で学習したことが、自分の身の回りでどのように活かされているのかを見つけ、心を動かされたものや感動したことなどを資料や材料として日頃から集めよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆テストの対象期間中に学習したことをワークシートや教科書、資料集を使って確認しておこう。 ・制作工程 ・基本的な知識 (技法や道具の名前、使い方、作品の名前や作者の名前など) ・作品を鑑賞して感じたことなど

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識及び技能	アイデアスケッチから読み取れる具体性や制作過程の理解、ワークシート、完成作品の技術力、定期テスト(4割)
思考力・判断力・表現力等	アイデアスケッチの想像性、ワークの意図の読み取りと表現力、鑑賞の内容や発表の様子、定期テスト(20~30点)
主体的に学習に取り組む態度	美術鑑賞等のワークや授業ふりかえりからわかる計画性や積極性、授業の取り組み方、提出物の状況など

各観点の比率は1:1:1です。

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	小林	100点
第2回定期考査			
第3回定期考査	11/19~21	小林	100点
第4回定期考査	2/25~27	小林	100点

【担当者からのメッセージ】

3年生は中学校での集大成を迎える学年です。絵画・彫刻・デザイン・工芸・観賞など様々な分野に取り組み、今まで学習してきたことを思い出しながら、自分の世界を広げていきましょう。また、どのようにしたら他者に自分の考えをより理解してもらえるかを考えながら表現活動に取り組んでみましょう。

美術は毎時間の取組の積み重ねが大切です。忘れ物をしてしまうと授業で十分な活動ができず、自分自身が困ることになります。スムーズに授業を行うためにも、使用するものは早めに準備をするなどの工夫をしましょう。

【授業に持ってくるもの】

- ・教科書 ・資料集 ・筆記用具
- ・B2の鉛筆 ・タブレット

【美術室に置いておくもの】

- ・絵の具セット ・スケッチブック

【1年間の学習内容】

学 期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学 期	オリエンテーション 鑑賞 鑑賞 絵画	「うつくしい！」 「虎図襖」 「墨で描く楽しさ」 (墨絵)	阿修羅像について鑑賞し、修学旅行前の知識を深めて、実際に見たときの興味・関心・感動などの気持ちを感じられるようにする。 ○《虎図襖》を觀賞し、水墨画に興味や関心を持ち、そこから感じたことなどを自分の表現に活かせるようにする。 ○形や色、墨による様々な表現方法を理解し、効果的に表現を取り入れていく。最後に1学期で彫った篆刻を押し、作品を完成させることで、総合的な美しさを感じ取る。
2 学 期	立体・工芸 鑑賞	「石でつくる」(篆刻) 「北斎からゴッホへ」	篆刻についての歴史や時代背景などを学び、芸術としての篆刻の良さを感じ取る。 また名前の漢字の由来などから自分の名前の由来を考えたり、文字の形の美しさを感じ取り、文字の美しさや意味が活きるようなオリジナルの印面デザインを考える。さらに、機能性や形の美しさ考えた持ち手のデザインを考え、印全体の総合的な美しさを考えられるようにする。 北斎とゴッホ、二人の作家の代表作を鑑賞し、日本の美術が西洋の美術に与えた影響を考えるとともに、日本と西洋の作品のそれぞれの良さや美しさを感じ取り、美術文化への理解を深める。
3 学 期	デザイン	「思い出の風景」(切絵)	切り絵の特徴を理解し、教材を活かして修学旅行の思い出をポストカードで表現する。 大切な思い出や旅先の景色に、自分の感じたことをどう重ねて表すかを考え、モチーフを簡略化したデザインを考え、表現方法を工夫してあらかわす。 写真やパンフレットなどからその時に感じた事を振り返り、表現方法の工夫や発想を練る。

3年	保健体育科	教材	・ 中学体育実技 ・ 中学保健体育 ・ 学習カード
----	-------	----	---------------------------------

【保健体育科で目指すこと】

- ・ 運動の合理的実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
- ・ 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育て健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動する態度を養う。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間のねらいを意識して授業に参加する。 ・ 粘り強く挑戦していくという姿勢をもつ。 ・ 実技では技のポイントが説明されるのでポイントを意識して授業に参加する。 ・ 仲間と協力しながら、お互いを高めあう姿勢を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードを整理していく。 ・ それぞれの種目に効果的に補える補助的な運動（ストレッチや筋力トレーニング）を効果的に取り入れていく。 ・ 知識の部分（ルール）をしっかり理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技では、中学体育実技の教科書を使って、技の名称、技のポイントやルールなどをしっかり押さえた学習をしていく。 ・ 保健分野は、中学保健体育の教科書や授業で学習した内容を復習することと、配布プリントを使用して学習をすすめる。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能 (4):(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査・授業観察 ・ 記録測定/技能テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 授業観察 ・ 学習カード
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業観察 ・ 学習カード

各観点の比率は 1 : 1 : 1 です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	石上 岩崎	100点
第2回定期考査	9/26, 27	-----	-----
第3回定期考査	11/19～21	石上 岩崎	100点
第4回定期考査	2/25～27	石上 岩崎	100点

【担当者からのメッセージ】

- ・ 保健体育科は実技分野と保健分野の二つに分かれます。
- ・ 実技分野では、自分の目標や課題解決に向かって粘り強く挑戦していく姿勢を身に付けていく事で、自己の記録を向上させるとともに、運動の楽しさや喜びを実感できると思います。
- ・ 保健分野は、自分のからだの事や身の回りの環境など日常生活と結びつけて学習を深めていけると充実した生活へつながります。
- ・ 保健体育の授業は、自分と向き合う種目もあれば、仲間と協力することによって成長していける教科です。
- ・ 自己や仲間の考えたことを伝えあい、仲間とコミュニケーションを大切にルールやマナー、健康・安全に関する態度を身に付けて取り組んでいきましょう。

【1年間の学習内容】

男女や天候などにより多少前後することがあります。

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 ラジオ体操・集団行動 スポーツテスト	<p>知識・技能 体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 身体には環境に対して適応能力があり、快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度明るさには一定の範囲があることを理解する。 滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡してタイミングを合わせるができる。助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。 各泳法の基本を身につけ、続けて長くや短い距離を速く泳ぐことができる。</p> <p>思考・判断・表現 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助し、一人一人の違いに応じた動きなどを認め、話合いに参加する。 健康・安全に気を配ることができる。 健康と環境についての学習に自主的に取り組む。</p>
	陸上競技	短距離走・リレー・走り幅 跳び/走り高跳び	
	水泳	・クロール・平泳ぎ 背泳ぎ・(バタフライ)	
	保健 健康と環境	・環境の変化と適応能力 ・活動に適した環境	
2 学期	器械運動	・マット運動/跳び箱運動	<p>知識・技能 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 飲料水や空気は健康と密接な関わりがあり、衛生的に保つためには基準に適合するように管理する必要があることを理解する。 人間の生活によって生じた廃棄物は衛生的に処理をする必要があることを理解する。 基本的な技を滑らかに安定して行うとともに条件を変えた技や発展技ができる。 基本的な技能の習得や仲間と連携した動きができる。自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>思考・判断・表現 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違いに応じた課題や朝辞を大切にする。健康・安全に気を配ることができる。 健康と環境についての学習に自主的に取り組む。</p>
	球技	・ゴール型/ネット型 ・ベースボール型	
	陸上競技	・長距離走	
	保健 健康と環境	・室内の空気の条件 ・水の役割 ・ごみの処理 ・環境汚染	
3 学期	球技	・ゴール型/ネット型 ・ベースボール型	<p>知識・技能 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 感染症は病原体が主な原因となって発生することや感染症防止の方法を理解する。 健康の保持増進や疾病の予防には医療機関や医薬品を正しく有効に利用することが必要であることを理解する。 基本的な技能の習得や仲間と連携した動きができる。文化としてのスポーツの意義を理解する。</p> <p>思考・判断・表現 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見しよりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違いに応じた課題や朝辞を大切にする。健康・安全に気を配ることができる。 健康と環境についての学習に自主的に取り組むことができる。 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組む。</p>
	保健 健康な生活と 病気の予防③	・感染症とその予防 ・性感染症とエイズ ・健康を守る取り組み ・医療機関の利用	
	体育理論 文化としての スポーツ	・スポーツの文化的意義 ・スポーツ大会の役割 ・人を結びつけるスポーツ	

3年	技術科	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術・家庭 ・配布ワークシート
-----------	------------	----	--------------------------------------------------------------------------------

【技術科で目指すこと】

- ・基本的な知識を理解し、基礎の定着をはかる。
- ・知識と知識を関連付け、適切な作業方法を理解することができる。
- ・安全にそして適切に作業する方法について理解し、実践することができる。
- ・問題発見・課題解決に向けて、技術の見方・考え方（社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性）の視点から、これからの社会の在り方について考えることができる。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、プリントの穴埋めだけでなく、余白に気がついたこと、大事なことをメモしましょう。 ・実習では制作のポイントが説明されるので意識して作業しましょう。 ・不明点は先生や班員に積極的に質問し、授業中に学習内容を理解する姿勢を大切にしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある製品の材料や材質について考えてみましょう。 ・ものづくりに挑戦してみましょう。 ・食品や栽培に目を向けてみましょう。 ・情報技術に関するニュースに関心を持ちましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使用したワークシート、小テスト、教科書を確認し、技術の基本的な知識についてよく復習しておきましょう。 ・工具の正しい使い方や注意すべきポイントについて振り返っておきましょう。

【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題・作品 ・技能テスト など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題・作品 ・ワークシートの記入状況 など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・作品 ・小テスト ・ワークシートの記入状況 など

各観点の比率は1 : 1 : 1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	真木田	50点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19~21	真木田	50点
第4回定期考査	2/25~27	真木田	50点

【担当者からのメッセージ】

技術分野は小学校の図工と大きく異なる点があります。図工と同様にものづくりの楽しさを学ぶことの他にも、今現在、私たちが生活している豊かな社会を作り上げた”技術”について学び、テクニックを身に付けます。1年生では木材加工の分野を、2年生では生物育成とエネルギー変換、3年生では情報技術について学習を行い、プログラミング等を行います。また、情報の記録、計算、通信の特性や原理・法則、情報モラルの大切さなど、これからの情報化社会には必要不可欠な学習をします。今までの学習と少し異なり実体がないため、イメージする力が必要になります。分からないことはどんどん質問してください。授業での制作を通じて、ものづくりの楽しさ、完成させることの喜び、ものを大切に扱う気持ちを身に付けていきましょう。

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・デジタル化、データ量 ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報の安全な利用 ・計測、制御プログラム ・文章作成ソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組みについて理解する。 ・情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法について理解する。 ・情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基礎的な仕組みについて理解する。 ・計測、制御システムにおける構成やその内部でのプログラムによる情報処理について理解する。 ・様々なソフトウェアを操作することができる。
2 学期	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・計測、制御プログラム ・表計算ソフト ・双方向性のあるコンテンツのプログラム ・デジタル作品の特徴 ・デジタル作品の設計、制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・計測、制御システムにおける構成やその内部でのプログラムによる情報処理について理解する。 ・プログラムを作る為の基本的な情報処理の手順に関する知識および技能を理解する。 ・設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラムについて理解する。 ・様々なソフトウェアの操作に関して理解する。 ・ソフトウェアを用いて多様な表現手段を複合し、表現や発信ができる。
3 学期	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・計測、制御プログラム ・デジタル作品の設計、製作、評価 ・情報に関する技術を未来に生かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見いだせる。 ・情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響を理解できる。

3年	家庭科	教材	*教科書 *ワークノート *実習教材（刺し子・練習布）
-----------	------------	----	-----------------------------

【 家庭科で目指すこと】

消費生活と環境の学習を通して持続可能な社会に関する理解を深めます。自分の成長の振り返りを通して、これからの生活を考えて行動できるよう、家族のこと、幼児の生活のことを学んでいきます。

【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
教科書とワークノートに従って授業を進め、ワークノートに自分の考えやポイントを記入していきます。毎時間の課題提出があるので、その時間内に書き終える力をつけましょう。次の時間に準備することも前の時間で確認をとるようにしてください。実習に集中して取り組みましょう。準備、実習、片付け、最後までしっかりと行いましょう。	授業で学習したことを生活で実践していきましょう。家族との今までのかかわりを振り返り、これからの関係を考えましょう。	教科書とワークノート、作品製作の手引きを中心に勉強をしましょう。

【何を評価するのか】

評価の観点	評価の主な方法	観点の比率
知識・技能	定期考査・小テスト 課題・作品・実技テスト	1
思考・判断・表現	ワークノート・作業記録 課題・作品・定期考査	1
主体的に学習に取り組む態度	ワークノート・課題・作品 振り返りシート・授業観察	1

各観点の比率は1：1：1です

【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	井上	50点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19～21	井上	50点
第4回定期考査	2/25～27	井上	50点

【担当者からのメッセージ】

自分の消費行動を振り返り、正しい選択ができるように学習していきます。これからの消費生活は環境への配慮が重要です。自分の便利さだけでなく地球環境や世界の人々に目を向けた消費生活を考えていきましょう。自分の生き立ちを再度振り返り、家族や地域とのかかわりの大切さを学び、今後にどのように生かすかを考えていきます。

【1年間の学習内容】(当初予定)

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1 学期	身近な消費生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> 商品購入のプロセス 契約と消費生活におけるトラブル 自ら取り組むエゴ生活 基礎縫い 	<ul style="list-style-type: none"> 販売方法、支払方法、情報の活用について理解し、選択することができる。 消費生活トラブル回避の方法、対処方法を理解する。 環境に配慮した消費について理解し、実践できる。 玉結び、玉どめ、並縫い、本返し縫いができる。
	衣服の補修		
2 学期	家族・家庭と子どもの成長	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長の振り返り 幼児期の心身の発達と生活 幼児の生活と遊び 子どもにとっての家族 家庭と家族関係 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人とのかかわりの中で成長をしてきたことを再確認できる。 幼児の心身の発達と生活の特徴について理解できる。 幼児の発達を支える周りの人の役割について理解できる。 幼児にとって、遊びや遊び道具が今後の成長に大きく影響することを理解する。 子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。
	衣服の補修	<ul style="list-style-type: none"> 基礎縫い 	<ul style="list-style-type: none"> まつり縫い、スナップつけ、かぎホックつけができる。
3 学期	家族・家庭と子どもの成長	<ul style="list-style-type: none"> 子どもをとりまく環境 これからの私と家族 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の幼児に関する事故や事件を知り、防ぐにはどうしたらよいかを考えることができる。 子どもと家族を支援する法律や施設を理解する。 これからの自分と家族と地域とのかかわりについて考え、実生活に生かすことができる。